9条改憲発議を阻止し、憲法が輝く政治の実現を！

あなたの日本共産党への入党を心からよびかけます

次の国政選挙では必ず躍進を！



総選挙後、初登院する日本共産党の衆院議員12氏＝11月1日、国会中央玄関

日本共産党の名前には、党創立以来の歴史と未来社会の理想がこめられています

日本共産党という名前は、一つは、「みんなが平等で自由に生きることができる共同の社会をめざす」という未来社会への展望を示しています。語源は、「コミュニティ」と同じです。

もう一つは、戦前、日本共産党は政党としてただ一つ、戦争反対を貫き、平和と民主主義をかかげ、国民主権の日本を築くために、命がけでたたかいました。戦後も、中国の毛沢東派やソ連といった「社会主義」を看板にした国が自分たちの言いなりになるように圧力をかけてきましたが、きっぱり拒否し、国民のためにがんばり続けてきました。

日本共産党の名前には、こうした不屈の歴史の重みとともに、未来社会の理想がこめられています。

希望ある未来を拓くためにご一緒にがんばりましょう

日本共産党東京都委員会

2017年11月発行／日本共産党東京都委員会【部内資料】
〒170-0004 豊島区北大塚1-33-26 ☎03-5972-1621（代表）

日本共産党員としての活動は

18歳以上の日本国民で、日本共産党の綱領と規約を認める人は、党員になれます。

日本共産党は、日本の社会を「真に平等で自由な人間関係からなる共同社会」に発展させることをめざしています。

日本共産党の綱領は、日本と世界の歴史と現実をふまえ、この社会がどんな発展段階をへて、また、どんな道すじにそって前進するのか、日本共産党は、未来社会への道をどのように切りひらいてゆくのか、それを明らかにしたものです。

党の規約は、日本共産党の活動をすすめてゆくための党の自主的ルールです。一般の団体でいえば〝会則〟にあたるものです。

私たちは、社会の進歩をめざすものとして、日常生活のうえでも、まわりの人たちから人間的にも信頼される人間でありたいと心がけています。

一人ひとりの党員は、それぞれの条件と得手を最大限に生かし、協力しあって活動します。

入党のお申し込みは

入党申込書に必要な事項を記入し、お知り合いの党員2人の推薦をうけ、入党費300円をそえて申し込みます。

四つの大切

「四つの大切」は、日本共産党員みんながとりくむ活動です

●「しんぶん赤旗」（日刊紙）を読みます

日本の巨大マスメディアは、「権力の監視」「真実を伝える」という「社会の公器」としての本来の役割を果たしきれていません。そのなかで、「しんぶん赤旗」は、真実を伝え、希望を運び、国民のたたかいのよりどころとして、かけがえのない役割を果たしています。

とくに、「しんぶん赤旗」日刊紙を読むことは、党員が希望をもって暮らし、確信と展望をもって活動するみなもとです。

●支部会議に参加します

支部会議は、まわりの人びとの利益のためにどんな活動をしてゆくのか、どんな党をつくるのか、目標や方針をみんなで相談し、決める場です。同時に、支部会議は、党員同士のあたたかい人間的信頼関係を築き、励ましあい、成長してゆく大切な場です。

●学習につとめ活動に参加します

一人ひとりの党員が、どんな情勢のもとでも、未来への科学的確信と展望をもって、活動し、成長していくうえで、党綱領や科学的社会主義の学習はかかせません。また、党大会決定や中央委員会総会決定の学習にも最優先でとりくみます。

●党費（実収入の1パーセント）をきちんと納めます

日本共産党は、政党助成金や企業・団体献金を受け取っていません。党の財政は、一人ひとりの党員が納める党費や「しんぶん赤旗」の購読料などで支えられています。入党した月から党費を納めることは、日本共産党を財政的に支える誇りある活動です。

安倍政権による9条改憲案の国会発議を許さず、憲法を生かし、国民一人ひとりが大切にされる政治をつくるために、ご一緒に力をあわせましょう

――あなたの入党を心からよびかけます

総選挙でのお力添え、ご尽力に心から感謝を申し上げます。

日本共産党は沖縄1区で再選をかちとりましたが、21議席から12議席に後退するという残念な結果でした。たくさんの激励を結果に結びつけることができなかったのは、私たちの力不足であり、次の選挙では必ず、まき返したいと決意を新たにしています。

同時に、私たちは総選挙を、市民と野党の共闘という形でたたかい、立憲民主党が躍進し、安倍政権のもとでの9条改憲に反対する共闘勢力は、38議席から69議席へと議席を伸ばすことができました。

市民と野党の共闘を前進させながら、日本共産党の躍進をかちとる――そのためには、強く大きな党がどうしても必要です。日本共産党を応援し、選挙をともにたたかってくださったあなたに、ぜひ日本共産党に入党していただきたいと心からよびかけます。



――逆流と分断を乗り越え、改憲二大政党づくりを阻んだ総選挙結果

総選挙の結果は「自民圧勝」といいますが、自民党が33％（有権者比17％）の得票で全議席の61％を得るという小選挙区制度による「虚構の多数」にすぎません。このことに多くの有権者が不安と不満を募らせています。

今回の総選挙は、安倍自公政権が国民の批判と怒りによって追いつめられ冒頭解散の暴挙にうってくるなかで、希望の党の登場とそれへの民進党の合流という大逆流が安倍政権への最大の応援団になりました。日本の政界が改憲勢力に覆いつくされる危険に直面するなか、日本共産党は揺るがずに市民と野党の共闘の旗を掲げ、全国で67選挙区、東京では8選挙区で候補者をとりさげました。

東京の選挙結果は、希望の党が4議席にとどまり、立憲民主党と共産党は合わせて10議席を占め、反自民の受け皿が市民と野党の共闘にあることをはっきり示しました。「保守二大政党づくり」のたくらみを打ち破った意義は非常に大きなものがあり、この流れをさらに前にすすめていくために引き続き奮闘する決意です。

――憲法9条改定案の国会発議を許さない国民的多数派を

改憲勢力が、改憲発議に必要な3分の2以上の議席を得たもとで、安倍・自民党は9条に自衛隊を明記する改憲案をまとめ、来年の通常国会へ提出、発議しようとしています。市民と野党の力を結集して9条改憲案の国会発議を絶対にさせない国民的多数派をつくることが最大の急務です。

安倍首相は、来日したトランプ米大統領との首脳会談で、北朝鮮の核・ミサイル開発に対し、軍事力行使容認・対話否定、さらに危機をあおって米国製武器を買う約束までしました。核戦争になりかねない戦争は絶対におこしてはなりません。北朝鮮問題をめぐる危機を打開するには、米朝が直接対話にふみきることが何より必要です。そして核をめぐる緊張が高まっている今だからこそ、核兵器の全世界的な禁止と廃絶が求められています。しかし、安倍政権が、唯一の戦争被爆国の政府にもかかわらず、国連で採択された核兵器禁止条約に背をむける態度に終始していることに世界から大きな批判の声があがっています。

戦争か平和か――歴史的岐路にたついま、党をつくって95年、反戦・平和をつらぬいてきた歴史をもつ日本共産党がいまこそ大きくならなければなりません。安倍政権の9条改憲の発議を許さず、憲法を生かし、国民一人ひとりが大切にされる政治をつくるために、ご一緒に力をあわせようではありませんか。

――自由と民主主義が花ひらく未来社会を展望して

沖縄の問題でも、消費税10％をめぐる問題でも、安倍政権の暴走政治の大もとには、異常なアメリカいいなり、財界中心という日本の政治の2つのゆがみにぶつかります。日本共産党の綱領は、この2つのゆがみをただし、「国民が主人公」の新しい日本にすすむ改革の展望をさししめしています。さらに綱領は、格差と貧困の拡大や地球的規模での環境破壊など深刻な危機が深まる資本主義をのりこえて、国民合意のもと、一歩一歩段階的な前進を通じて、人類が将来、人間の個性と自由が花ひらく未来社会（社会主義・共産主義）にすすむことを展望しています。これまでの世界では資本主義時代の経済的・社会的な達成をふまえて、社会主義的変革に本格的に取り組んだ経験はありません。綱領では、憲法の国民主権、基本的人権、議会制民主主義が生かされ、個人の尊厳が尊重される社会、資本主義時代の価値ある成果のすべてを受けつぎ、さらに発展させる未来社会の展望を明らかにしています。

あなたの入党は、草の根で社会を動かし、新しい歴史をひらくたしかな力になります。日本共産党への入党は、希望ある未来をみずからきりひらく、生きがいある道です。あなたのかけがえのない人生を社会進歩に重ね、日本共産党員として歩まれることを、心からよびかけます。